

7月28日(金)発行



ほぼ

# 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



チョン・ミョンフンと清水和音、  
ベートーヴェンの「3番」プロで  
交差した「男の人生」

7月27日(木) 東京フィルハーモニー交響楽団 © 青柳聡

**東**京フィルハーモニー交響楽団名誉音楽監督の指揮者、チョン・ミョンフンの振り出しはピアニスト。1953年ソウル生まれ、ニューヨークで学び、74年のチャイコフスキー国際音楽コンクール・ピアノ部門で2位に入った。ソロの清水和音は60年東京生まれ、ジュネーブで学び、81年のロン＝ティボー国際音楽コンクール・ピアノ部門で優勝した。ともにクラシック音楽を輸入した極東の地から、ピアノの腕一本で国際楽壇に食い込んだ男性アーティスト2人は、世代的に近いにもかかわらず、今夜が初共演だった。

ベートーヴェンのピアノ協奏曲と交響曲、それぞれの「第3番」という選曲は一見普通だが、ともに第1番、2番と慎重に進めてきた作曲技法の革新で一気にアクセラを踏み込み、両ジャンルの可能性を大きく広げた野心作である点を思い出せば、かなり聴きごたえのある組み合わせだ。他方、ピアノ協奏曲の第2楽章における木管楽器のソロとピアノの会話の豊かさ、交響曲終楽章の典雅なフーガなどでは、モーツァルトが切り開いた音楽の地平をベートーヴェンがストレートに受け継いだ事実を改めて確認できる。

チョンと清水はそれぞれの持ち場において、ベートーヴェンの「3番」にこめられた多様な音楽の「相」を慈しむかのように引き出し、一切の力みを感じさせなかった。作品のスケールが自然と膨らむ一方、時として、モーツァルトに通じる典雅さが顔を出す。たえず演奏シーンの一線に身を置きつつも、内実を究める努力を怠らず、作品よりも自分が目立ってしまう「エゴ」(自我)を超越した2人の「男の人生」が、「フェスタサマーミュージック」で1つに重なった。

池田卓夫(音楽ジャーナリスト)



マエストロ：チョン・ミョンフン  
終演後、サインをいただきました。

7/27

東京フィルハーモニー交響楽団

## お客様の声から♪

直球ド真ん中のストレート勝負で、ズバツとやられた感じです。こういう演奏をきくたびに、また次のコンサートに行きたくくなります。ジブリもいいけど、こういうプログラムこそクラシックのおもしろさだと思います。(50歳・匿名) / 「この暑いのにオール・ベートーヴェン・プログラム?!」とも思いましたが、いざ聴いてみると清水和音さんのピアノの美しい音色と技巧、東京フィルの透明度の高い歯切れのよいアンサンブルや木管・金管の美音に暑さも忘れ、涼感を覚えて爽快な気分になりました。ミョンフンさんもあっぱれ!(63歳・暑がり屋) / 今日初めてこちらのホールに来ました。リハはステージ正面2階、公演は3Fステージ横で聞きましたが、どちらで聴いてもとても素敵に音が響いてきました。今日の演奏をきいて、こちらのホールのファンになりました。(20歳・まんぐーす) / ベートーヴェンをもっと聴いていきたい、オーケストラを聴き続けていきたい。素朴ですがそういう感情を抱かせてもらえる大切な時間でした。(47歳・匿名)

**本日 7/28 (金)**

コンサート前のお楽しみ♪

サマーナイト・ジャズ

**ロビー** 18:15~45  
ジャズバー Sayama 開店  
(2F ドリンクコーナー)



at ドリンクコーナー  
※本日限定! special drink /  
ジムビーム  
アップルハイボール  
600 yen

**▶▶NEXT!!**  
フェスタサマーミュージック

NHK 交響楽団  
《プリンセス・オン・クラシックス》

**完売御礼!**

\*当日券なし

**7/29 (土) 16:00 開演 (14:30 開場)**  
ミュージア川崎シンフォニーホール

指揮/渡邊一正  
独唱/新妻聖子、津田英佑  
司会/平井理央

**室内楽** 15:00~15:30  
木管五重奏&弦楽四重奏  
(対象:チケット購入者)

# かわさきジャズ 2017

## 2017.11.10fri—19sun



世代をつなぎ、ジャンルを超え、  
地域に橋を架ける都市型音楽フェス!!

かわさきジャズ 2017 ミューザ川崎シンフォニーホール公演

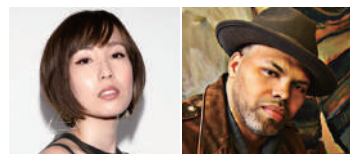


**シェネル /**  
フロント・アクト 高澤綾 with ジェyson・マルサリス

11/17(金)18:30開演

累計1,000万回ダウンロード数を誇るラブソング・プリンセス、シェネルの4年ぶりの来日公演。第1部の高澤綾クインテットには、ジャズ界で著名なマルサリス一家の末弟、ジェyson・マルサリスが参加します。

【公演共通】 8/25 (金) チケット一般発売  
S席 6,000円、S席 5,000円、A席 4,000円、B席 3,000円  
※詳細はチラシ、ホームページをご覧ください。  
<https://www.kawasakijazz.jp/>



**Nao Yoshioka with**  
Special Guest Eric Roberson  
フロント・アクト m.s.t.

11/18(土)16:00開演

2015年の全米デビュー後、世界を股にかけて活躍するシンガー Nao Yoshioka が選んだコラボレーション相手は、米国インディー・ネオ・ソウルシーンの第一人者エリック・ロバートソン。フィラデルフィアから招いたフルバンドをバックに、ワールドスタンダードのリアル・ミュージックを生で届ける、この日限りのライブショーです。

昨年、「ジャズは橋を架ける」というコンセプトを掲げた「かわさきジャズ」は、音楽を媒介として「人と人」「地域と地域」「現在と未来」をつなぐ、多様性に富んだ音楽フェスティバルを目指しています。

そのコンセプトに沿って、今年は巨匠から業界注目の新星まで、幅広い世代のアーティストを招き、あらゆる年齢層のお客様にご来場いただきたいと思っています。また今年は、ジャズを中心としながらも、サルサ、

ソウル、カンツォーネ、歌謡曲、J-POPまで、今まで以上に多様なジャンルを楽しめる音楽祭となります。

これまでミューザ川崎シンフォニーホールには、ジャズ界のビッグネームが登場してきましたが、今年は J-POP やソウルミュージックのアーティストが出演します。ふだんのミューザでは聴くことのできない音楽をこの機会にぜひ体験してください。

(経営管理課 ま)

## QUIZ! なるほど ミューザ

#6 サインシリーズ-その1  
世界のヒノ!

### 【問題】

ホール内にはこれまで出演した多くのアーティストたちのサインを飾っているブースがあります(2階・3階のL側廊下)。その中には、絵心のあるサインも!

さて、世界的トランペット奏者・日野皓正さんが2013年に出演された際に書いてくださったサインに描かれたイラストは何でしょう?

彼の代名詞ともいえる、あの楽器も描かれています!! 実物をぜひご覧ください。

→こたえは、この紙面の下(枠外)へ!

### COMING CONCERTS

~世界の「ヒノ」が再びミューザに!~

今シーズンは、日野皓正が2度もミューザに登場します! まずは毎年好評の「MUZA パイプオルガンクリスマス・コンサート」(12月23日)。オルガニスト小野田良子を中心に、情熱的な音楽を楽しむクリスマスをお届けします。そして、来年3月27日には、Dream Jazz Big Band SETAGAYA を率いて、90分のスペシャルコンサート「エキサイティング・ナイト」開催! どちらもご期待ください!

パートナーショップのご紹介  
**エンジョイ! 川崎!!**  
Enjoy Kawasaki

コンサート前後のカフェタイムにぴったりのアフタヌーンティー・ティールームが、パートナーショップに今年から仲間入りしました!

もびったり。季節のスコーンも選べますので、いろんな味をお楽しみください。

(事業課 も)



パートナーショップの特典(スイーツ注文時1ドリンクサービス)を使ってぜひお試しいただきたいのが、スコーン。サク! フワ! のスコーンに、甘さ控えめのクリームとブルーベリーソースをつけて食べるのが最高です。意外とボリュームもあるので、軽食として

### 友の会キャンペーン実施中

#### 新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中(8/11まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

#### ミュージック友の会

- ・年会費3,000円
  - ・チケット割引・優先予約などお得な6つの特典
- 詳しくは友の会入会窓口(ホール・歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

#### 現・会員の方にプレゼント!

サマーミュージック公演のチケットをご購入の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】1本をプレゼント! DM同封の引換券をお持ちください。



### スタッフ日誌

世間では、働き方改革が話題となっていますが、ミュージックでも働きやすい環境づくりを進めています。これから産休に入る予定の人や、育児短時間勤務中の人、子育てを一段落し復帰した人など、様々なスタックがミュージックの「翼」を担っています。

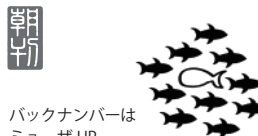
私も近い将来、お嫁さんを迎え、子育てをするときが来るかもしれません。そうになったら、是非育児を取ってみたい気持ちもありません。その時にしかできない日々の子の成長を見届け、楽しみや大変さを味わうことは、結果的に仕事にも活かせることだと考えているからです。

ミュージックでは、たくさんの人材育成や教育プログラムを実施しています。少子化の時代より一層の「子どもは地域一体で育てていく取り組み」の拠点となっていくことができれば良いと思います。

労務管理担当 す

当日の感動をすぐお届け!!

毎日 日刊サマーミュージック  
Hobo Nikkan Summer Muza



バックナンバーはミュージックHPでも公開中!  
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>